

「もったいないゼロ応援店」制度の導入について

1 要 旨

本来食べられるにも関わらず廃棄されている食品（以下「食品ロス」という。）の削減に取り組む事業者をもったいないゼロ応援店（以下「応援店」という。）として登録し、その取組みを広く周知することにより、消費者及び事業者の意識の啓発を図る。また、事業者における食品ロス削減及び経営改善にも繋がる取組みを促進し、一般廃棄物の減量に資することを目的とした新たな制度を導入する。

2 概 要

(1) 制度のポイント

- ◆お茶の水女子大学 SDGs 推進研究所との協働考案事業
- ◆食べきりに留まらない、他区にはない北区独自の登録要件を設定
- ◆制度周知及び食品ロス削減の普及啓発を目的とした講演会を実施
- ◆個別相談会を通じた応援店へのフォローアップを実施
- ◆消費者への周知啓発を図るための応援店ステッカー、啓発ノベルティ等の作成

(2) 登録対象者

北区内における飲食店、食事を提供する宿泊施設又は食料品小売店を営む事業者で登録要件に定めた取組みのうち、いずれか1つ以上に取り組んでいる事業者

(3) 登録要件

別紙のとおり

(4) 登録方法

応援店への登録を希望する事業者からの申請に基づき、区が審査のうえ登録する。

「もったいないゼロ応援店」の要件

★北区独自の要件

直接廃棄

①★データ等を活用した仕入れ及び在庫管理の適正化

【例】需要予測 AI の利用による発注効率化、在庫管理システムによる在庫最適化など

②販売方法の工夫

【例】期限が迫った商品の割引、ばら売り、量り売り、予約販売、フードシェアリングサービスの利用など

過剰除去

③食材を無駄なく使い切るための工夫

【例】野菜の皮等を活用したメニューの提供など

食べ残し

④消費者の要望に沿った量での提供

【例】小盛り・ハーフサイズメニューの提供、ご飯の量の調整など

⑤食べ残した料理の持ち帰り対応

リサイクル

⑥食品リサイクルの実施

【例】生ごみ処理機・コンポストによる堆肥化・飼料化、食品廃棄物を活用したバイオマス発電の実施など

その他

⑦★客層にあわせた食品ロス削減に寄与するサービスの提供

【例】宗教や食文化等に配慮したメニューの提供など

⑧食品ロス削減に向けた消費者向けの意識啓発

【例】30・10 運動・適量注文・てまえどり等の呼びかけ、ポスター掲示による意識啓発など

⑨★食品ロス削減に向けた従業員向けの意識啓発

【例】従業員向け研修の実施、食品ロス削減に関する講習会への参加など

⑩上記以外の食品ロス削減のための取組

【例】規格外食材や賞味期限が近い食品の活用、フードバンクへの食品提供、店舗での廃棄削減のための工夫など

登録の流れ

申請

電子申請
フォーム
から申請



【福祉社会推進課】東京都北区もったいないゼロ応援店登録申請フォーム

入力フォーム

入力1 入力2 入力3

申請者の情報を入力してください。 **必須**

事業者名（店名） **必須**

株式会社北is（仮称）

事業者所在地 **必須**

北区王子〇丁目〇番〇号

代表者氏名 **必須**

北区 太郎

審査

区が申請内容の
確認

登録店には
○承認通知書
○ステッカー
を配布



登録

啓発用ノベルティ
を配布



個別相談会を実施



北区ホームページ等
で店舗の取組
を紹介



※北区が実施するアンケート調査等にご協力をお願いします